

R6.9.6.

令和6年度歯及び口腔の健康づくり推進部会

資料 2 - 2



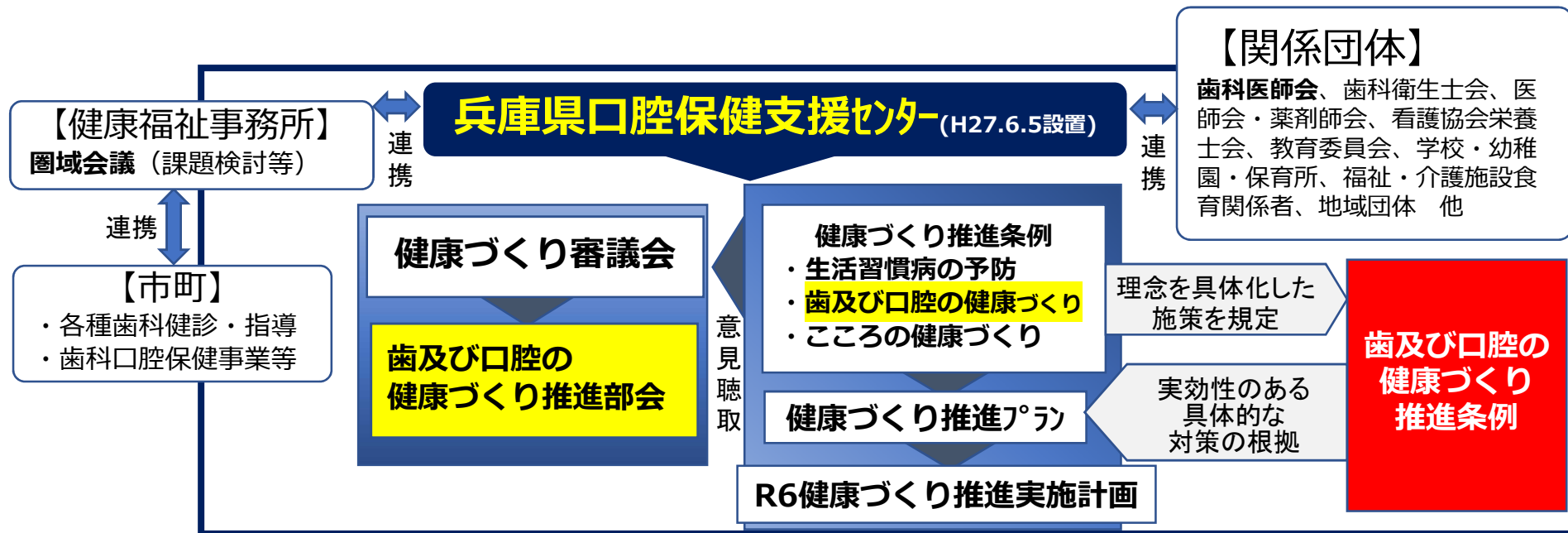
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



兵庫県健康づくり推進実施計画(第3次)に基づく 令和6年 歯と口腔の健康づくり事業

兵庫県健康増進課 歯科口腔保健班





人材育成等	普及啓発調査・研究	歯及び口腔保健対策
<ul style="list-style-type: none"> ● 歯科衛生士活動支援研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・保健所等歯科衛生士研修会 ・地域活動歯科衛生士研修会 ● 歯科衛生士離職防止研修会 ● 口腔健康管理地域支援リーダ登録事業 ● 離職歯科衛生士への復職支援事業 ● 歯科衛生士センターの運営 (歯科口腔保健体制整備事業) ● 歯科医療関係者向け認知症対応力向上研修 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師認知症対応力向上研修 ・歯科医師認知症専門研修 ・歯科衛生士認知症対応力向上研修 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歯と口の健康サポーター養成事業 ● 歯科保健に関する調査 <ul style="list-style-type: none"> ・市町歯科保健対策実施状況調査 ・市町歯周病検診等結果調査 ・乳幼児歯科健診結果調査 ・保育所、認定こども園、幼稚園・学校歯科健診結果調査 ● R6 歯科疾患実態調査 ● 県HPやSNSを活用した情報発信 ● (新) プレ万博イベント (健口から始めるウェルビーイング向上イベント) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 乳幼児期からの歯及び口腔保健対策推進事業（4歳5歳フッ化物洗口事業） ● 大学生による大学生のためのオーラルヘルスアッププロジェクト ● 中小企業従業員と家族の健診受診補助 ● 口腔がん対策推進事業 ● 精神障害者歯科包括ケア体制整備事業 ● 通所介護事業所における口腔ケア定着事業 ● (新) オーラルフレイルの更なる普及・啓発と体制整備事業

分野別取組① 歯及び口腔の健康づくり

※ () は目標値

1 総合的な推進

目標 (主なもの)

- 過去1年間に歯科健康診査を受診した者の割合の増加(20歳以上) (60.2%→82%)
(かかりつけ歯科医への定期的受診を含む)

取組方針

- ライフステージに応じた歯科・口腔保健サービスの増設 県民皆歯科健診の実現
- 歯及び口腔の健康づくりの推進を啓発
歯と口の健口サポーター(健康財団)、プレ万博イベント

2 次世代への支援

目標 (主なもの)

- 3歳児健康診査で4本以上のむし歯のある者の割合の減少(2.9%→1.3%)

取組方針

- 妊産婦を対象とした歯科健診や歯科保健サービス等の推進 プレママの洗口推進イベント
- 歯科関係者と保育・学校関係者・栄養士等との連携による保健指導及び**フッ化物応用の推進**

3 青年期・成人期の取組

目標 (主なもの)

- 過去1年間に歯科健康診査を受診した者の割合の増加(20歳代) (45.4%→77%)
- 進行した歯周病を有する者の割合の減少(40歳) (44.2%→34%)
- 進行した歯周病を有する者の割合の減少(50歳) (53.9%→44%)

取組方針

- 学生による歯科健診の受診啓発活動
- 市町や**職域歯科健診**の受診機会の拡大
- かかりつけ歯科医による定期的歯科健診の受診促進と**特定健診**の咀嚼質問からの歯科受診促進

1. 次世代への取組②

フッ化物洗口モデル事業

～むし歯の地域格差の縮小を目指して～

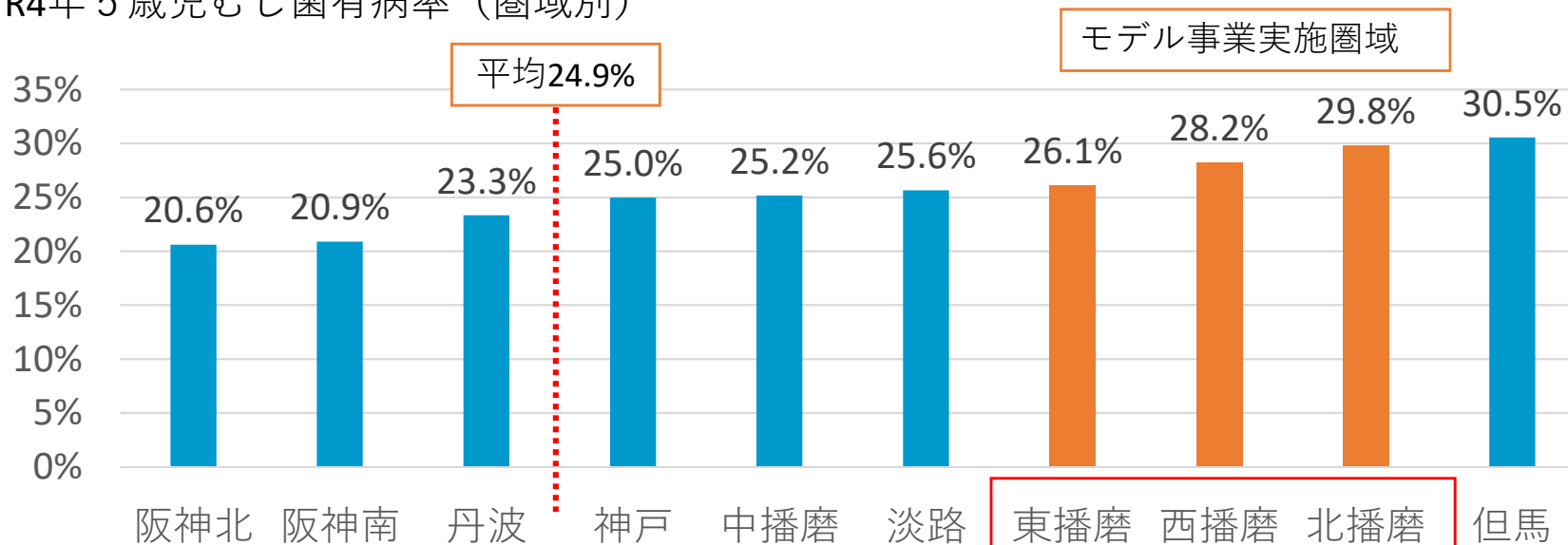


みんなで楽しくむし歯予防

- フッ化物洗口（R5～R6）とその評価：7市町24園で実施中
- モデル市町における事業の継続と実施市町の拡大
- 小・中学校の実施へ向けた機運醸成

明石市、赤穂市、加古川市、
稲美町、多可町、高砂市、
播磨町

R4年5歳児むし歯有病率（圏域別）



青年・成人の歯科健診機会の増設

～定年後に後悔しないための健口習慣の定着～

● 大学生によるオーラルヘルスアップ事業

- 学生自身による歯と口腔の健康意識の向上、各種イベント参加やSNS等、学生目線による他大学生への横つながりの啓発活動
- 学生による「健口習慣」を楽しく学ぶゲーム等の開発

● チャレンジ歯科健診（職域）

- 健康づくりチャレンジ企業 & **従業員が100人以下の中小企業の従業員とその扶養家族**に、歯科健診受診費用の一部を助成（自費2千円）
- 職場で行う歯科健診の補助（10万円）



健康づくりチャレンジ企業



分野別取組② 歯及び口腔の健康づくり

※ () は目標値

4 高齢期の取組

目標 (主なもの)

- 口腔機能の維持・向上における咀嚼良好者割合の増加(60歳以上) (65.1%→80%)

取組方針

- 介護予防等と連携した**オーラルフレイル対策**等の充実 歯科+多職種連携による啓発・普及
- かかりつけ歯科医や歯科衛生士による**認知症**や要介護状態の進行予防 早期発見

5 配慮を要する者への支援

目標 (主なもの)

- **障害者(児)**入所施設での過去1年間の歯科健診実施率の増加 (64.2%→90%)
- **介護老人福祉施設**及び**介護老人保健施設**での過去1年間の歯科健診実施率の増加 (31.9%→50%)

取組方針

- 住み慣れた地域で歯科医療を受けるための体制整備 限られた人材による地域支援
- 新 **介護者や介護職等が行う日常の口腔ケア支援**の推進 歯科・医科・介護連携による誤嚥性肺炎予防と摂食支援

6 歯と口腔の健康づくりの推進に向けた体制の整備

モニタリング指標

- **行政歯科衛生士**を配置する市町数の増加
- 新 ● 事業を実施する際、**PDCAサイクル**に沿った評価を行っている市町数の増加
- 新 ● **災害時**における保健活動マニュアル等に歯科に関する項目が記載されている市町数の増加

取組方針

- 新 ● 市町における歯科口腔保健の体制整備
- 新 ● **災害**発生時や感染症まん延時における中長期的な歯科保健医療サービスを提供する体制の確保及び平時からの整備 歯科保健活動指針の改訂

4. 高齢期の取組

オーラルフレイル予防の更なる普及・啓発と体制整備事業

1. 関連団体の実態調査

2. 県民への普及・啓発

3. 医療者への研修会

シン・オーラルフレイルとは
(3学会合同声明)

県民への啓発
(多職種連携)

兵庫県予防啓発
リーフレットより抜粋

フレイルってなあに？

フレイルとは、年齢とともに体力や乳力が減り、心身の活力（筋力や認知機能など）が、低下した状態のことです。

フレイルチェックをしてみよう！

健康 ← オーラルフレイル ← フレイル ← 要支援・要介護状態

オーラルフレイルってなあに？

オーラルフレイルとは、（まだ病気ではないけれど）歯のページのチェック項目のような「お口のざとろえ」が出現する、健康とフレイルの間の状態のことです。お口のサインにいち早く気付いて改善すれば、フレイルにならず、健康に過ごせます。

自分の歯を残して、オーラルフレイルを予防するために

自分でできる予防	歯科でできる予防
毎日の歯と口のケア ■寝る前の丁寧な歯みがき ■朝食後のうがいと舌みがき	かかりつけ歯科医に相談 ■痛みがなくても定期健診を ■ブラークや歯石の除去
お口の舌返り作戦 ■口の周りの筋力UP（舌巻や歌など） ■かむ力と飲み込みを元気に	自分で一緒にバツカサ体操 動画 動画 元タカコシエンと「おカエル」バツカサ体操 [2分30秒]

お口の簡単トレーニング

はっきり「ハハハハハ」「タタタタタ」「カカカカカ」「ラララララ」と、できるだけ早口で声に出してみてください！ 一息で何回言えますか？

お口の周りや舌の筋機能低下を予防する体操

— 新生活習慣！食前に行いましょう！ —

上下口周	舌の先	舌の根	舌を伸ばせる
上下口周の筋力低下 嚥下・飲み込みが難しくなる	舌の先を動かす力が低下 食べ物を押しつぶせなくなる	舌の根を動かす力が低下 飲み込みが難しくなる	舌の長さを保てられなくなる 食べ物を丸められなくなる

（出典：「健康ひょうご2」県民運動ポータルサイトより作成、一部改定）

大きな動きをしながら、ゆっくり丁寧に10回程度繰り返す！お口の周りだけでなく顔の筋肉もしっかり動かしましょう！

声は出しても、出さなくてもOK

あ	い	う	べ
「あ〜」と声を出しながら口を大きく開いて1秒キープ	「い〜」と声を出しながら口を横に広げて1秒キープ	「う〜」と声を出しながら口をすぼめて1秒キープ	「べ〜」と舌を少し強めに唇下に出して2〜3秒キープ

（出典：「あらい」クリニック院長今井一朗先生考案「あいうべ体操」より作成、一部改定）

★ オーラルフレイル概念図 一般市民向け

イラストで
分かりやすく



2/5項目以上でオーラルフレイル (R6~新基準)
機器がなくてもOK! 分かりやすい5つの質問

2項目以上は
リスクも2倍

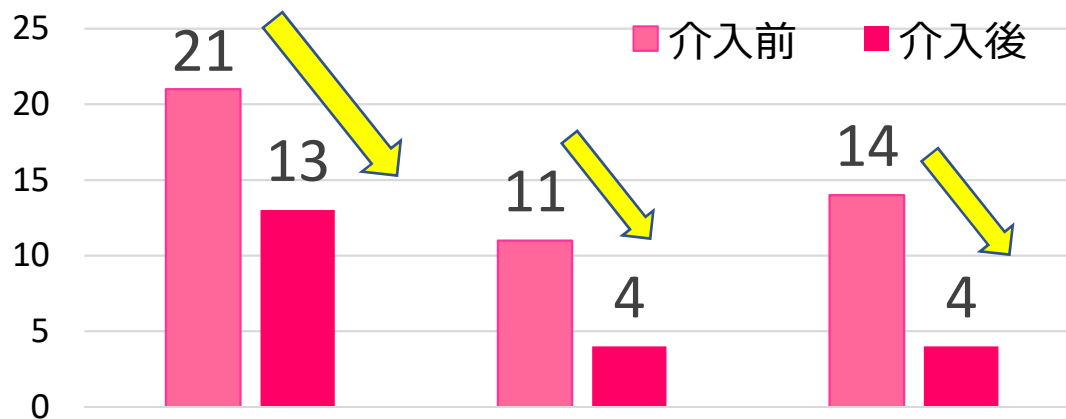
日本老年医学会等三学会による提言

通所介護事業所における口腔ケア定着事業

～日常の口腔ケア支援が、通所や在宅要介護者の健康と誤嚥性肺炎等の発症を防ぐ～

医療と介護が連携して要介護者の命を守る取組み

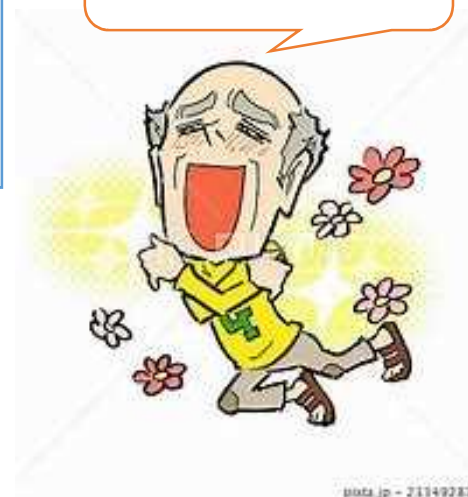
- ケアマネ 口腔観察 & ケアプランへ口腔ケア項目を加筆
- 通所職員・ヘルパー 毎日の口腔ケアの介助・実施
- 歯科医師・歯科衛生士 施設職員への口腔ケア指導・入居者の治療



本事業後、肺炎で入院したケース数が激減！

厚労省は「口腔連携強化加算」で、ケアプランのDX化を推進

口臭が消えた！
ごはんが美味しい！



5. 要介護者への取組

精神障害者の歯科包括ケア事業

精神科病院や施設の職員の皆さまへ

「すぐに役立つ」口腔ケアがわかる！

動画の視聴方法

- ・携帯・タブレットで見る： 下記QRコードから
- ・パソコンで見る： 兵庫県のホームページから「歯の健康」を検索して「精神障害者歯科包括ケア体制整備事業」を選択

視聴者の声

- ・通勤中に気軽に見られる
- ・我流でやっていた方法を見直せた
- ・動画なので文字よりもわかりやすい
- ・毎日の口腔ケアを通じて会話が増えた

口腔ケアを受けた方の声

- ・気持ち良かった
- ・歯を大切にしようと思うようになった



①「精神障害者への歯科診療・口腔ケアの勘所」

兵庫医科大学 医学部 歯科口腔外科学講座 野口一馬 先生

<https://vimeo.com/786458022/e5d9f96786>



歯科医療従事者も必見

「そこが知りたい！」口腔ケアをイチからわかりやすく



②「精神障害者への口腔ケアー口腔ケアの準備編ー」

兵庫県・兵庫県歯科医師会 協力：兵庫県歯科衛生士会

<https://youtu.be/4yO19Y5Sm3g>

(↑オー)

「なるほど！」見て良かった！情報と手技が満載



令和4年度 兵庫県精神障害者歯科包括ケア体制整備事業

(問い合わせ先)

兵庫県保健医療部健康増進課 歯科口腔保健班

TEL 078-341-7711 (内線3206)

FAX 078-362-3913



- 歯科従事者のための研修会
- 精神病院職員への口腔ケア実地研修会
- 精神障害者歯科包括ケア体制整備検討会議

- R4.医科歯科連携調査
- R5.動画作成 & 配信
- R6.病院実地研修（2施設）

体制整備と普及啓発

県民への普及啓発 & 感染症蔓延時や被災時への備え

● 災害時歯科保健活動の体制整備

- ◆ 県歯科医師会と「災害時の歯科保健医療活動に関する協定」の締結（R6.8.22）
- ◆ 歯科保健活動指針の改訂

● プレ万博イベントの開催（R6.11.16予定）

- ◆ 「健口から始めるウェルビーイング向上イベント」
- ◆ 健康無関心層（特に若年層）に兵庫県の著名人と一緒に歯と健康のクイズに挑戦する参加型イベント
- ◆ 次年度の関西万博（予定）に向けて「健口」習慣の機運を醸成する



R6.能登半島地震へ
34都府県から108の歯科チーム派遣

